

社会資本整備総合交付金事業の事後評価について

1 社会資本整備総合交付金及び社会資本総合整備計画について

下水道事業に対する国の財政支援は、平成21年度予算までは旧来の補助金により実施されてきましたが、平成22年度予算より国土交通省において「社会資本整備総合交付金」が創設され実施しております。

この社会資本整備総合交付金は、社会資本総合整備計画（計画期間は概ね5年間）に位置付けられた事業の範囲内で充当することが可能となります。この整備計画については、計画目標として下水道普及率等の定量化した評価指標を設定し、計画の終了時には目標の事業効果の実現状況等について事後評価を行うこととなっております。

2 野田市公共下水道事業における社会資本総合整備計画について

野田市公共下水道事業における社会資本総合整備計画（通常）においては、平成28年度に当該計画（計画期間：平成28年度～32年度）を策定しましたが、平成30年度予算においてアクションプラン（令和8年度までに公共下水道の整備を概成させる整備計画）に基づく下水道未普及対策事業として、より国庫補助金の配分が期待できる重点計画（重点配分項目のみで構成される整備計画）への切り出しを求められ、平成28年度から平成29年度までの既計画（P15, 16, 17）と平成30年度から平成32年度までの重点計画（P18, 19, 20）に整備計画を切り分け事業を実施してまいりました。

3 社会資本総合整備計画の事後評価について

令和2年度において社会資本総合整備計画（「野田市における公共下水道の推進（重点計画）」）の期間が完了した事により、定量的指標（最終目標値）の実現状況を報告いたします。

(1) 定量的指標（最終目標値）について

下水道処理人口普及率（下水道を利用できる人口）

・当初現況値（H28） 64.8% → 最終目標値（H32） 67.7%

最終実績値（H32） 69.3%

(2) 事後評価の結果

効果の発現状況としては、最終目標値に十分達したことから、水環境や生活環境の改善に一定の効果が得られました。

※下水道処理人口普及率の69.3%は、行政区内人口を基にしたものであり下水道全体計画区域の計画人口を基にすると80.78%になります。

(3) 今後の方針

下水道処理人口普及率の増加を図るため、令和3年度からの5カ年整備計画においても社会資本整備総合交付金を活用し公共下水道の普及促進に努めてまいります。

4 事後評価の結果の公表

事後評価の実施にあたっては、評価の透明性、客観性、公正さが求められていることから、今後国土交通大臣への報告及びホームページ等で公表いたします。

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 3 年 9 月 日

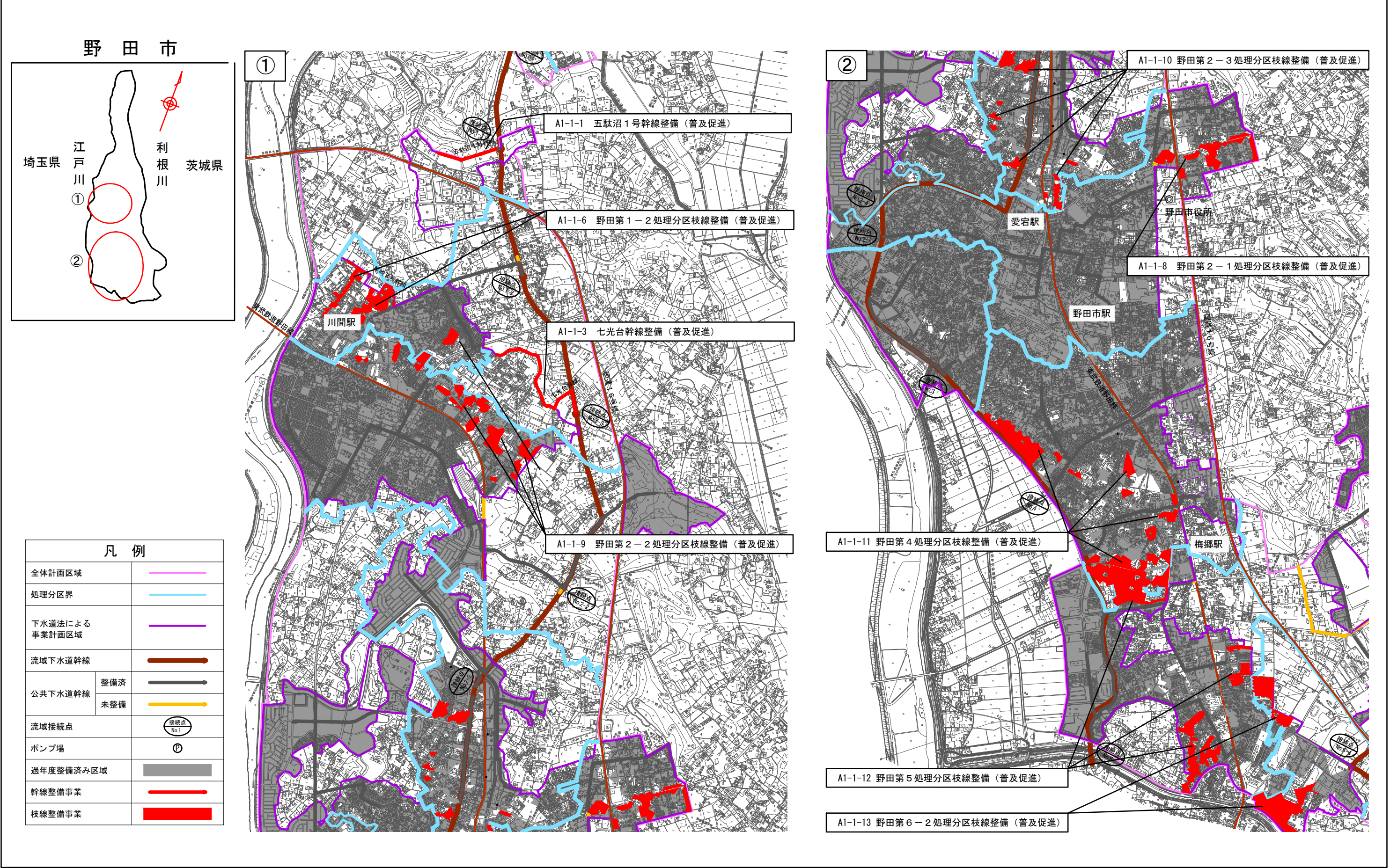
計画の名称		野田市における公共下水道の推進																	
計画の期間		平成28年度 ～ 平成29年度（2年間）					交付対象		野田市										
計画の目標																			
公共下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、水環境や生活環境を改善する。																			
計画の成果目標（定量的指標）																			
①下水道処理人口普及率を 64.8%（H28当初）から 67.7%（H32末）に増加させる。																			
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考							
									当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)								
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）									64.8%	66.5%	67.7%								
全体事業費（計画）		合計 (A+B+C)	904百万円	A	904百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0%								
全体事業費（実績）		合計 (A+B+C)	984百万円	A	984百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0%								
事後評価																			
○事後評価の実施体制、実施時期																			
事後評価の実施体制								事後評価の実施時期											
野田市公共下水道運営審議会にて事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を行う。								令和3年9月											
								公表の方法											
								事後評価後、野田市ホームページにて公表する。											
1. 交付対象事業の進捗状況																			
交付対象事業																			
A1 下水道事業																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
												H28	H29	H30	H31	H32			
江戸川左岸処理区																			
A1-1-1	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	五駄沼1号幹線整備（普及促進）	L=0.3km φ250mm	野田市						177	計画		
									L=0.3km φ250mm							96	実績		
A1-1-3	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	七光台幹線整備（普及促進）	L=0.3km φ200mm～φ250mm	野田市						90	計画		
									L=0.2km φ200mm～φ250mm							94	実績		
A1-1-6	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第1-2処理分区枝線整備（普及促進）	L=0.3km φ200mm	野田市						51	計画		
									L=2.3km φ200mm							96	実績		
A1-1-8	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第2-1処理分区枝線整備（普及促進）	L=0.1km φ200mm	野田市						22	計画		
									L=0.3km φ200mm							24	実績		
A1-1-9	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第2-2処理分区枝線整備（普及促進）	L=0.5km φ200mm	野田市						68	計画		
									L=1.8km φ200mm							117	実績		
A1-1-10	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第2-3処理分区枝線整備（普及促進）	L=0.6km φ200mm	野田市						81	計画		
									L=1.2km φ200mm							43	実績		
A1-1-11	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第4処理分区枝線整備（普及促進）	L=1.3km φ200mm	野田市						183	計画		
									L=2.5km φ200mm							144	実績		
A1-1-12	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第5処理分区枝線整備（普及促進）	L=1.0km φ200mm	野田市						163	計画		
									L=1.8km φ200mm							188	実績		
A1-1-13	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第6-2処理分区枝線整備（普及促進）	L=0.5km φ200mm	野田市						69	計画		
									L=2.4km φ200mm							182	実績		
											合計（計画）					904			
											合計（実績）					984			

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 公共下水道整備により下水道処理人口普及率を64.8%から69.3%へと増加が図れた結果、安全・安心、快適な暮らしの実現に対して一定の効果が得られた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	67.7%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	69.3%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・ 公共下水道整備を行うことにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、水環境や生活環境の改善に一定の効果が得られた。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
・ 下水道処理人口普及率の増加を図るため、引き続き次期整備計画においても公共下水道の普及促進に努める。					

計画の名称	野田市における公共下水道の推進		
計画の期間	平成28年度 ～ 平成29年度（2年間）	交付対象	野田市



社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 3 年 9 月 日

計画の名称	野田市における公共下水道の推進（重点計画）																		
計画の期間	平成30年度 ～ 平成32年度（3年間）					交付対象		野田市											
計画の目標	公共下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、水環境や生活環境を改善する。																		
計画の成果目標（定量的指標）																			
①下水道処理人口普及率を 64.8％（H28当初）から 67.7％（H32末）に増加させる。																			
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考						
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）										当初現況値 （H28当初）	中間目標値 （H30末）	最終目標値 （H32末）							
										64.8％	66.5％	67.7％							
全体事業費（計画）	合計 （A＋B＋C）	1,722百万円	A	1,722百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.0％									
全体事業費（実績）	合計 （A＋B＋C）	1,490百万円	A	1,490百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.0％									
事後評価																			
○事後評価の実施体制、実施時期																			
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期												
野田市公共下水道運営審議会にて事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を行う。							令和3年9月												
							公表の方法												
							事後評価後、野田市ホームページにて公表する。												
1. 交付対象事業の進捗状況																			
交付対象事業																			
A1 下水道事業																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考		
											H30	H31	H32	H33	H34				
江戸川左岸処理区																			
A07-001	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	五駄沼1号幹線整備（普及促進）	L=0.2km φ250mm	野田市							37	計画	
									L=0.2km φ250mm								49	実績	
A07-002	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	尾崎2号幹線整備（普及促進）	L=0.2km φ200mm	野田市							134	計画	
									L=0.4km φ200mm								91	実績	
A07-003	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	七光台幹線整備（普及促進）	L=1.2km φ200mm～φ250mm	野田市							301	計画	
									L=0.9km φ200mm～φ250mm								147	実績	
A07-004	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	関宿第1処理分区枝線整備（普及促進）	L=0.2km φ200mm	野田市							24	計画	
																	0	実績	
A07-005	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第1-1処理分区枝線整備（普及促進）	L=0.3km φ200mm	野田市							47	計画	
																	0	実績	
A07-006	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第1-2処理分区枝線整備（普及促進）	L=0.8km φ200mm	野田市							101	計画	
									L=0.4km φ200mm								37	実績	
A07-007	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第1-3処理分区枝線整備（普及促進）	L=1.1km φ200mm	野田市							134	計画	
									L=0.5km φ200mm								91	実績	
A07-008	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第2-1処理分区枝線整備（普及促進）	L=0.8km φ200mm	野田市							100	計画	
									L=0.9km φ200mm								91	実績	
A07-009	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第2-2処理分区枝線整備（普及促進）	L=1.0km φ200mm	野田市							130	計画	
									L=1.2km φ200mm								124	実績	
A07-010	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第2-3処理分区枝線整備（普及促進）	L=1.0km φ200mm	野田市							130	計画	
									L=1.2km φ200mm								141	実績	
A07-011	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第4処理分区枝線整備（普及促進）	L=1.7km φ200mm	野田市							204	計画	
									L=2.8km φ200mm								288	実績	
A07-012	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第5処理分区枝線整備（普及促進）	L=1.6km φ200mm	野田市							201	計画	
									L=2.8km φ200mm								254	実績	
A07-013	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第6-2処理分区枝線整備（普及促進）	L=1.5km φ200mm	野田市							179	計画	
									L=2.0km φ200mm								149	実績	
A07-014	下水道	一般	野田市	直接	野田市	汚水	新設	野田第6-1処理分区枝線整備（普及促進）	L=0.2km φ200mm	野田市							22	計画	
									L=0.4km φ200mm								28	実績	
											合計（計画）					1,744			
											合計（実績）					1,490			

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H30	H31	H32	H33	H34		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H30	H31	H32	H33	H34		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

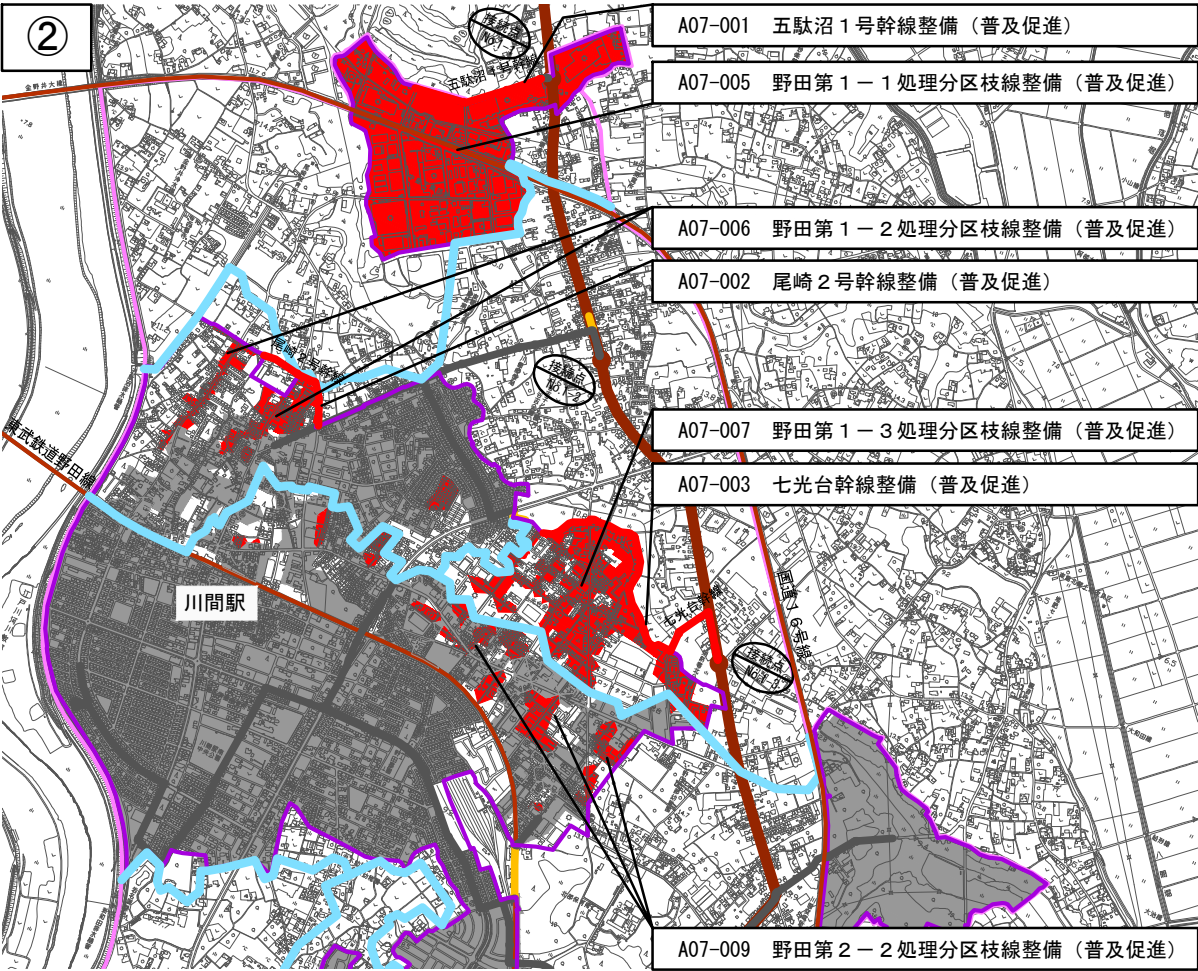
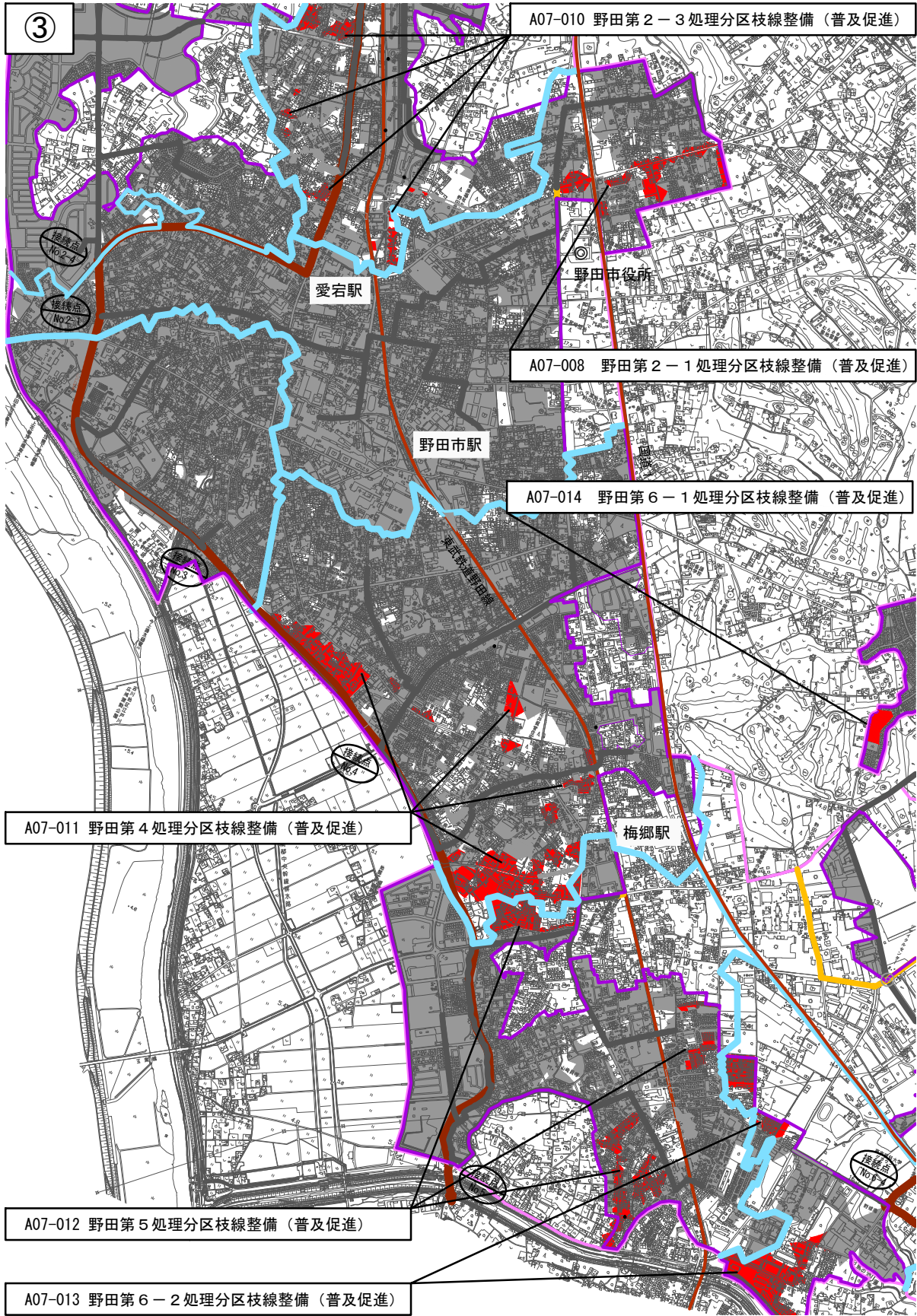
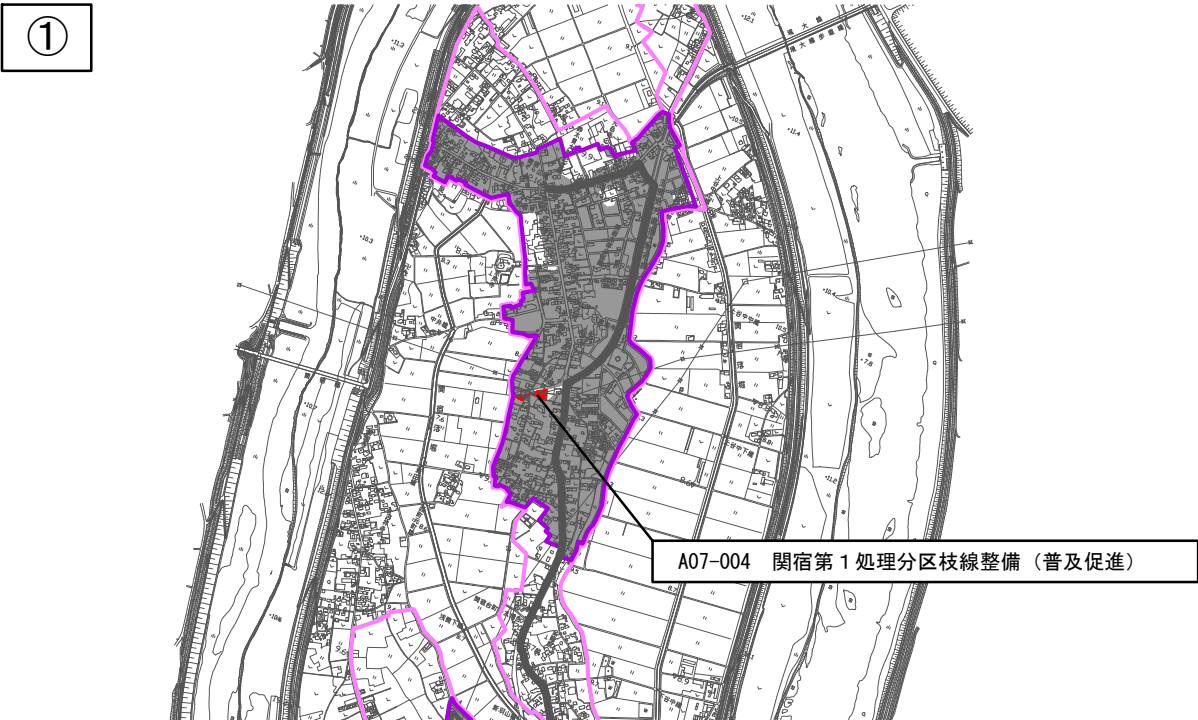
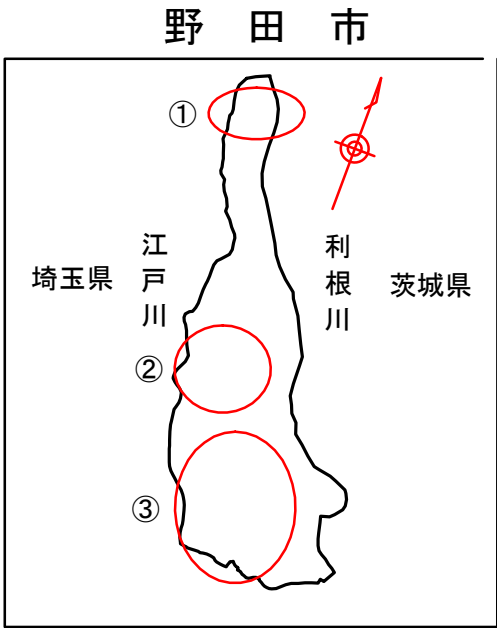
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・公共下水道整備により下水道処理人口普及率を64.8%から69.3%へと増加が図れた結果、安全・安心、快適な暮らしの実現に対して一定の効果が得られた。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	67.7%	目標値と実績値 に差が出た要因		
		最終実績値	69.3%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		・公共下水道整備を行うことにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、水環境や生活環境の改善に一定の効果が得られた。				

3. 特記事項（今後の方針等）

・下水道処理人口普及率の増加を図るため、引き続き次期整備計画においても公共下水道の普及促進に努める。

計画の名称	野田市における公共下水道の推進（重点計画）		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和2年度（3年間）	交付対象	野田市



凡 例	
全体計画区域	
処理分区界	
下水道法による事業計画区域	
流域下水道幹線	
公共下水道幹線	整備済
	未整備
流域接続点	
ポンプ場	
過年度整備済み区域	
幹線整備事業	
枝線整備事業	

その他

公共下水道事業計画（認可）変更について

公共下水道事業計画（認可）は、下水道法第4条1項に則り事業計画を定め、千葉県知事との協議により事業施行をしております。事業計画（認可）は、概ね5～7年程度の間に整備可能な区域について策定をします。

野田市の事業計画（認可）区域は、2,159.9ヘクタールの中で整備を進めており整備率は令和3年4月1日現在で84.71パーセントとなっております。このことから下水道整備を途切れることなく進めるため令和3年度に約62.33ヘクタールの事業計画（認可）を追加して2,222.23ヘクタールに拡大するため準備を進めています。追加区域は清水地区で子ども館東側、清水台小学校北側の約12.73ヘクタールと山崎地区で梅郷駅東側、都市計画道路今上木野崎線の沿線の約49.6ヘクタールとなります。

ついては、令和4年度に当該地区の負担区の設定と受益者負担金の単位負担金額を決定する必要があることから審議会に諮問し答申を頂きたいと考えております。

【参考】

1 事業計画追加区域隣接の負担区及び単位負担金額

負担区の名所	単位負担金額
野田第2負担区	650円／m ²
野田第3負担区	700円／m ²

2 直近の汚水事業計画（認可）変更の経緯

- 平成25年3月29日（第18次変更）

2,123ha から 2,164ha に拡大（+41ha）

（野田第2－2処理分区・野田第1－3処理分区・七光台幹線）

- 平成30年1月11日（第20次変更）

2,164ha から 2,160ha に縮小（△4ha）

関宿第1処理分区の区域削除（はやま工業団地の用途変更に伴うもの）

野田地域

令和3年度 事業計画(認可)箇所

